選擇股票的四個指標

株主資本比率 企業の財産の中で返さなければならないお金、つまり借金が多いか少ないかを見る指標です。安全性の目安は少なくとも30％以上とされ、株主資本比率が高いほど財務の安定性が高いといわれています。

株主資本利益率（ROE） 株主からの出資金をどれだけ使って利益を稼いだか、経営の効率性を見る指標です。「当期純利益÷株主資本×100」で求めることができます。ROEは2～3％が標準、10％以上なら収益性が高いといわれます。

株価収益率（PER） 株価が「割安か」「割高か」がわかる指標です。株価を1株あたりの利益で割って求めます。PERは10倍や20倍といった表し方をし、倍率が高いと株価は割高、低ければ割安ということになります。

株価純資産倍率（PBR） 株価を１株あたり純資産で割った値で、割安株の目安になります。「PBR＝1倍」が評価基準で、高いほど企業価値が評価されることになります。PERと組み合わせて使い、銘柄の割安の度合いを図ります。